

事例検討ワークシート①

所属病院名： 氏名：

性別： 男 ・ 女	受診・入院に至った経過
年齢： 歳代 前半 ・ 後半	
既往歴・現病歴	
内服薬	精神機能 外見/清潔 注意/集中/意識 行動/意欲 気分/感情 不安/緊張 知覚/思考
身体状態	
生活歴・嗜好	
家族の希望・生活状態	
IADL 金 銭： 電 話： 買い物： 家 事： 外 出	

事例検討ワークシート②

画像検査	検査の評価・診察内容
血液検査	
心理症状・行動障害のアセスメント 身体的要因 ☐基礎疾患の憎悪 ☐血圧の変動 ☐便秘 ☐下痢 ☐疼痛 ☐食事・水分量不足 ☐掻痒感 ☐発熱 環境的要因 ☐馴染んだ場所からの転居 ☐同居家族の変化 ☐家の改修 ☐電気製品の買い換え ☐入院 ☐施設入所 ☐DD・SS の利用 ☐介護者の病気・入院 ☐近親者(ペット含)の不幸 ☐五感刺激の不足 ☐不適切な環境刺激(音・光) 心理・社会的要因 ☐単身、日中独居による不安、孤独、寂しさ ☐介護者の口調が早い・強い ☐暴言・暴力を受ける ☐失敗を注意・指摘される ☐話を聞いてくれない ☐何もすることが無い・させない ☐不適切な介護 ☐役割の変更・喪失 ☐戸外に出られない 薬剤の影響 ☐パーキンソン病薬 ☐抗不安薬 ☐H₂ ブロッカー薬 ☐抗ヒスタミン ☐向精神病薬 ☐抗てんかん薬 ☐睡眠薬 ☐抗うつ薬 ☐ステロイド ☐抗アレルギー薬 ☐認知症治療薬 ☐泌尿器科治療薬 生活リズム ☐不眠 ☐夜間の覚醒 ☐日中の眠気	せん妄のアセスメント 準備因子(脳の脆弱性を示す因子) ☐高齢(70 歳以上) ☐認知症 ☐脳血管障害の既往 ☐身体疾患の重症度が高い ☐視覚・聴覚障害 直接因子(脳機能を低下させる重要な因子) ☐脳の器質的病変 ☐手術 ☐心不全 ☐低 Hb 血症 ☐低酸素血症 ☐発熱を伴う感染症 ☐低血圧 ☐水分・電解質異常(脱水) ☐低 Alb 血症 ☐代謝障害(PH 不均一・腎機能・肝機能障害) 誘発因子(せん妄の引き金・促進因子ケアで予防できる) ☐身体の急変 ☐不安・恐怖・緊張 ☐緊急手術 ☐絶食 ☐強制的な安静臥床 ☐睡眠パターンの変調 ☐不眠・睡眠不足 ☐間隔遮断・過度な感覚刺激 ☐疼痛・発熱・掻痒・便秘など持続する身体ストレス ☐持続点滴 ☐見知らぬ環境などの心理的ストレス ☐パルン留置 ☐不適切な対応 ☐薬剤 (☐パーキンソン薬 ☐抗不安薬 ☐H₂ ブロッカー薬 ☐抗ヒスタミン ☐抗精神病薬 ☐抗てんかん薬 ☐睡眠薬 ☐抗うつ薬 ☐ステロイド ☐抗アレルギー薬 ☐認知症治療薬) ☐泌尿器科治療薬)
総合評価 ●どうアセスメントしたか？ ●なぜこの事例をあげたか？ ●この事例から何を検討したいか？	

事例検討ワークシート③

感覚/知覚 難聴 視力 皮膚の状態	運動機能
実行機能障害 遂行機能障害（目的を持ち、計画を立て、一連の流れを通して実際の行動を行う能力で、前頭葉の機能）	実行機能障害の評価
記憶 即時記憶 短期記憶 長期記憶	記憶の評価
見当識 時 場所 人	見当識の評価
言語 発話 話の整合性 理解可能な文章の長さ	言葉機能の評価
失行 失行（麻痺はないが日常の習熟動作が出来ない状態）	失行の評価
失認 失認（感覚機能に異常がないが物体が認知できない）	失認の評価

事例検討ワークシート④

コミュニケーション	コミュニケーションの評価
活動と休息	活動と休息の評価
食事 食欲 食事の認知 食べる道具 食形態 摂食動作	食事の評価
排泄 尿意 尿意行動 便意 便意行動 下着の種類	排泄の評価
身支度・個人衛生 入浴習慣 入浴拒否 入浴時の工夫 歯磨き習慣 整容習慣	身支度・個人衛生の評価
安全と病気の理解 安全 受診・入院に対する本人への説明内容 受診・入院の理解	安全と病気の理解の評価

事例検討ワークシート⑤

心的要因	社会資源
社会・文化的要因	